

**[成果情報名] 諫早湾干拓地における露地夏秋キュウリの梅雨明け植え替え更新法**

**[要約]** 諫早湾干拓地における露地夏秋キュウリの梅雨明け植え替え更新栽培は、直播栽培が生育初期からの生育が早く、は種後44日程度で収穫期に達する。  
収穫開始後の草勢も安定し、総収量並びに商品化収量も高い。

**[キーワード]** 夏秋キュウリ、植え替え更新、直播栽培、移植栽培

**[担当]** 農林技術開発センター・干拓営農研究部門

**[連絡先]** 0957-35-1272

**[区分]** 総合・営農(干拓)、野菜

**[分類]** 指導

-----  
**[背景・ねらい]**

諫早湾干拓地の営農品目の中に一部、露地夏秋きゅうりが導入されている。  
春定植の栽培では、梅雨明け後の草勢低下が著しく、植え替え方式の栽培法についての要望が高い。そこで、育苗並びに移植労力低減のため直播栽培について検討し、その生育・収量特性を調査した。

**[成果の内容・特徴]**

1. 直播栽培は、発芽後の生育が早く、は種後44日、生育積算温度 1,275℃となった8月下旬から収穫が始まった。移植栽培は、定植後の活着に時間を要し、直播区より10日遅い収穫開始となる。(表1)
2. 直播区は、収穫開始後も草勢が強く、総収量並びに商品化収量、旬別収量ともに優れる。(表2、図1)

**[成果の活用面、留意点]**

1. 直播栽培は、1穴2粒播きとし、発芽後本葉第1葉が展開するまでの間は乾燥しないよう十分かん水する。晴天日は朝・夕の2回かん水する。  
は種後発芽までの所要日数は4日程度、本葉第1葉展開までの所要日数は8日程度である。
2. 施肥量、栽植距離は慣行栽培に準ずる。

[具体的データ]

表1 収穫開始期の早晚、収穫盛期

| 区名  | 収穫始め  | 播種後日数     |              | 収穫盛期            |     |
|-----|-------|-----------|--------------|-----------------|-----|
|     |       | 日数<br>(日) | 積算温度<br>(°C) | 日収量<br>(kg/10a) |     |
| 直播区 | 08/23 | 44        | 1,275        | 09/08           | 621 |
| 移植区 | 09/02 | 54        | 1,535        | 09/14           | 569 |

表2 総収量及び規格別収量(単位:kg/10a)

| 区名  | 総収量   | 商品化収量            | 2S            | S                | M                | L                | 2L               | 外                |
|-----|-------|------------------|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|     |       |                  | (15~17cm)     | (17~19cm)        | (19~21cm)        | (21~23cm)        | (23~25cm)        | (曲がり、先細)         |
| 直播区 | 7,385 | 5,653<br>(76.5%) | 403<br>(5.5%) | 1,014<br>(13.7%) | 1,380<br>(18.7%) | 1,415<br>(19.2%) | 1,439<br>(19.5%) | 1,198<br>(16.2%) |
| 移植区 | 6,270 | 4,720<br>(75.3%) | 246<br>(3.9%) | 702<br>(11.2%)   | 1,074<br>(17.1%) | 1,274<br>(20.3%) | 1,425<br>(22.7%) | 1,091<br>(17.4%) |

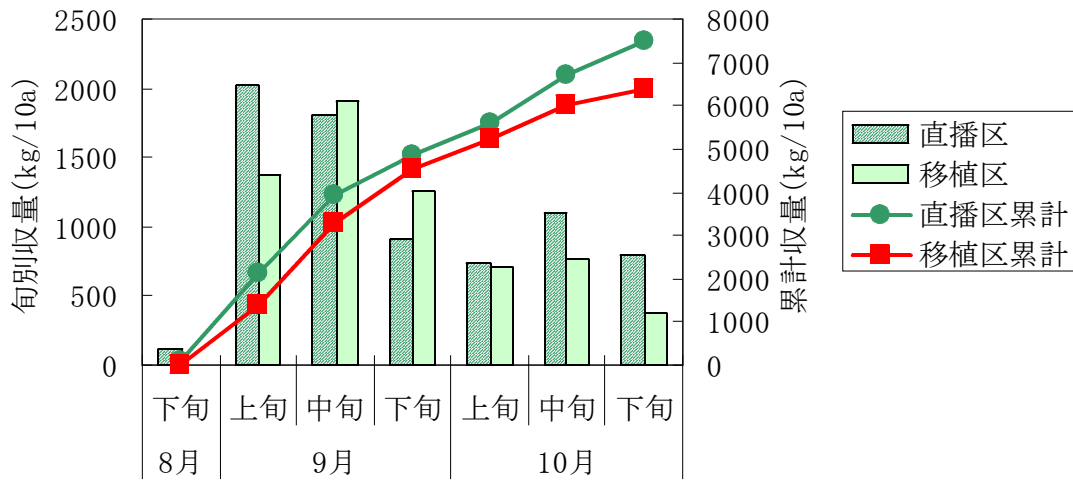


図1 旬別収量

[耕種概要及び区の構成]

品種 「夏ばやし」(タキイ種苗)  
 は種 平成20年7月10日 7月18日直播区追い播き  
 移植 7月30日(移植区のみ、50穴トレイ使用)  
 収穫 8月23日~10月30日  
 栽植距離 畦巾 200cm × 株間 60cm 833株/10a  
 施肥量 N-20kg/10a(硫安 96kg/10a)

[その他]

研究課題名：IV. 営農支援緊急課題解決  
 予算区分：県単  
 研究期間：2008年度～  
 研究担当者：小林雅昭  
 発表論文等：